



鉄道高架化通信



第44号

令和6年8月発行

発行：豊田市建設部街路課

～若林3号踏切（市道旧名岡線）で夜間車両通行止めを実施します～

若林3号踏切の夜間車両通行止めについて

若林3号踏切（市道旧名岡線）における、桁下防護工事のため、下記のとおり、夜間車両通行止めを実施します。沿線にお住いの皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

期間：令和6年8月19日（月）～8月28日（水）
（上記のうち2日）

時間：23:00～翌5:00

規制内容：夜間車両通行止め（歩行者通行可）

施工業者：矢作建設工業㈱

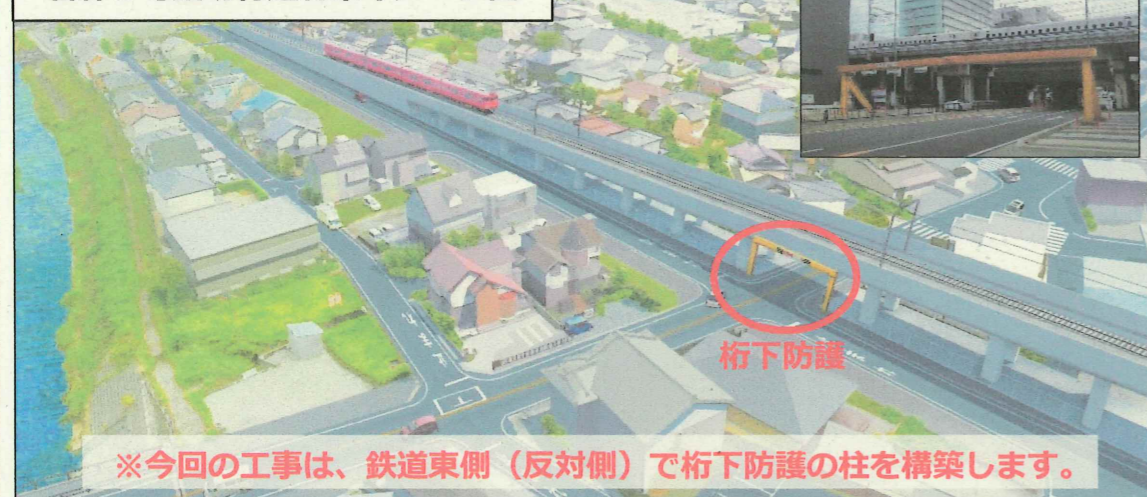
理由：桁下防護工事のため

迂回路：主要地方道名古屋岡崎線、国道155号等

その他：詳細は、現地案内看板をご覧ください。



若林3号踏切付近将来イメージ図



※今回の工事は、鉄道東側（反対側）で桁下防護の柱を構築します。

ちょっと途中下車

～高架化探検隊(三河八橋駅編)～

若林駅付近の鉄道高架化をきっかけに、市内外の鉄道関連の整備が行われたまちを「高架化探検隊」が調査します。他の高架化された駅やその周辺のまちはどのような様子なのでしょうか。

第1回は、お隣の三河八橋駅です。伊勢湾岸自動車道、県道名古屋岡崎線の整備に合わせて高架化された三河八橋駅。高架への切替は平成21年12月ですので、当時の様子を覚えている方も多いのではないでしょうか。

近年の高架駅には、駅利用者を風から守ることを目的に防風スクリーンが整備されます。これは、ホームの位置が高くなり、風の影響をより受けるためで、三河八橋駅にも整備されています。

ところで、三河八橋駅に整備されている防風スクリーン（右写真）のデザインの概念をご存じでしょうか。紫色のラインに上が逆三角形のデザインになっています。名鉄の方に伺うと、これは「かきつばた」をイメージしてデザインされているとのこと。駅はまちの象徴となることが多いため、地域の特色や近隣の名所などを参考に、そのまちが連想出来るようなデザインにしているそうです。

若林駅がどんなデザインになるのか楽しみですね。



三河八橋駅

事業スケジュール

① 用地の取得

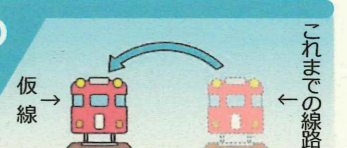
② 準備工事

③ 工事説明

④ 仮線工事

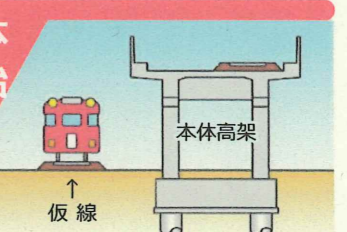
⑤ 仮線への切替

令和5年3月



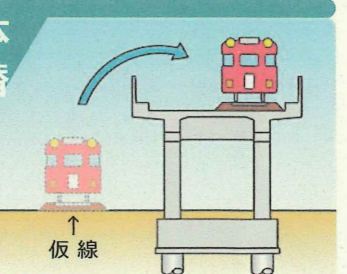
⑥ 高架本体工事開始

令和5年5月



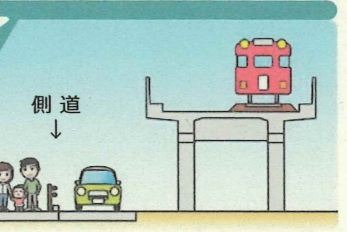
⑦ 高架本体への切替

令和8年3月
予定



⑧ 仮線撤去・側道等の整備

⑨ 工事完了



問合せ先

豊田市建設部街路課 建設第3担当
電話番号：0565-34-6651（直通）
FAX番号：0565-35-8196
メール：gairo@city.toyota.aichi.jp